

単元名 豊かな表現を求めて

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) 拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫しどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070204_001

【教材名】風とケーナのロマンス（歌唱 器楽） 冬げしき（歌唱 共通教材）

(P. 42～P. 45)

【準備等】範唱CD、リコーダー、鍵盤楽器、録音機器

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 フレーズや旋律の流れを生かして「風とケーナのロマンス」を演奏する。</p> <p>○ 範唱を聴き、学習課題をつかむ。</p> <p>★ 拍の流れにのって歌うように演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱CDを聴き、曲の雰囲気と8分の6拍子の流れを感じ取る。 <p>○ 8分の6拍子について振り返り、指揮をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱CDに合わせて、大きく二つ振りで指揮をする。 <p>○ 拍の流れにのり、フレーズを感じ取りながら歌ったり、合奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拍の流れを感じ取りながら1と2のパートを歌う。 ・ それぞれのパートの重なり方やかけ合いを意識して二部合唱をする。 ・ 拍の流れにのり、1と2のパートをリコーダーで演奏をする。 ・ 鍵盤楽器で低音パートを演奏する。 ・ 各パートを合わせて合奏する。 <p>○ グループで楽曲の特徴や曲想を生かした表現の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律のなめらかな感じを生かして演奏をする。 ・ 音色や音量のバランス、曲が盛り上がるころなどをグループで工夫する。 <p>○ 発表会を通して、互いの表現のよさを学び合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ演奏の発表会をする。 ・ 友達の演奏のよいところや工夫していることを見つけ発表をする。 <p>3～4 「冬げしき」の情景を思い浮かべながら、表情豊かに表現する。</p> <p>○ 範唱を聴いて、学習課題をつかむ。</p> <p>★ 拍の流れにのって表情豊かに歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱CDを聴いて、感じたことを話し合う。 <p>○ 情景を想像しながら歌詞を朗読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難解な語句の意味を知る。 ・ 情景を思い浮かべて朗読をする。 ・ 詩の流れや言葉の抑揚を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この楽曲は世界の音楽で学習した「フォルクローレ」である。 【資料】フォルクローレという言葉は本来民間に伝わるもの全般をさすが、アンデス山脈一帯の音楽の呼び名としてもつかわれる。 ・ フォルクローレであることを知らせ、ケーナの紹介をする。実物があれば見せるとよい。 ・ もの悲しげな旋律や3段目の旋律の動きが変わったことを感じ取らせる。 ・ P. 25を参考に、8分の6拍子について振り返る。 ・ 8分の6拍子（大きな二つの揺れ）の流れる感じがこの曲の特徴である。 【共通事項】拍 ・ 4小節で1つのフレーズとなるように、たっぷりと息を吸う、4小節を一息で歌う感じなどを気を付けさせる。 ・ リコーダーの運指（\flatシ、ナチュラルのシ、\sharpソ、ナチュラルのソ）の確認をする。 ・ リコーダーで演奏する場合も歌ったときの息の使い方を意識させる。 【共通事項】フレーズ 【評】拍の流れにのってフレーズを感じ取りながら演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ グループ活動で行う。実態に合わせて全体で活動をしてよい。その場合は工夫前の演奏を録音しておくときよい。 ・ パートの重なりやかけ合いなど、音楽の縦と横の関係に着目させる。 【共通事項】音楽の縦と横の関係 【発展】「もっとあそぼう」を参考にリズム伴奏をつくって加えたり、強弱の工夫をさせてもよい。 【評】曲の特徴にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する ・ よいところはもう一度聴き直して確認し、それを取り入れて最後に演奏させるとよい。 ・ 全体での演奏を行った場合は録音を活用し、工夫を取り入れる前と工夫を取り入れた後の演奏を聴き比べ、自分たちの思いや意図に合った表現になっているか確認させる。 【評】各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。 ・ ゆったりとした3拍子の感じや3段目の旋律だけリズムが違うことなどを感じ取らせる。 ・ 「さざり」「小春日」などの難解な語句を解説し、理解させる。 ・ 1番は朝の港、3番は昼の畑、3番は夕方の里と時や場所が移り変わっていることに気付

- 情景を思い浮かべながら主旋律を歌う。
 - ・範唱CDを聴いて歌う。
 - ・旋律の動きを意識して歌う。
 - ・情景を思い浮かべながら歌う。
 - ・格段の旋律のリズムを確かめながら歌う。

- 拍の流れにのって二部合唱をする。
 - ・音程に気を付けて副旋律を歌う。
 - ・3拍子の流れにのり、二部合唱をする。

- 歌詞の情景を思い浮かべながら、表情豊かに合唱する。
 - ・言葉を大切にしながら歌う。
 - ・速さや強弱を工夫する。

- ・正しい音程と響きのある声を意識させる。
- ・旋律線（音符と音符を線でつなぎ、旋律の動きを視覚的に捉えやすくしたもの）の起伏を感じ取り、自然な強弱を生かして歌わせるとよい。この曲の全てのフレーズの後半はデクレシェンドによって静かに納められるように仕掛けられている。
- ・3段目のみリズムが異なることに気付かせる

【共通事項】旋律 リズム

- ・各段の旋律の終わり方が続く感じが落ち着く感じが感じ取らせながら歌わせる。
- ・音が分かれる部分を長く伸ばして歌い、響きを確かめさせるとよい。
- ・ゆったりとした3拍子の流れを感じ取りながら歌わせる。

【共通事項】拍

- ・朗読した時の言葉の抑揚などを思い出して、言葉を大切に歌う。息の長い豊かな起伏となっているフレーズを意識させる。
- ・「朝のしも」「岸の家」の歌い出しは、それぞれの1小節前の1拍目よりも強く歌い出してデクレシェンドにすると、歌詞や旋律の動きからも自然な表現になる。
- ・旋律線の動きを意識させる。

【評】曲想と音楽の構造、曲想と歌詞の内容との関わりを捉えて表現する活動を通して「知識」を評価する。

【 備 考 】